平成２７年度第２回　今金町地域交通協議会

議事要旨

日　　時：平成２７年７月１０日(金)　午後３時００分～午後３時５０分
場　　所：役場２階　会議室
出席委員：外崎会長、辻副会長、中山委員、水島委員（随行伊勢谷氏）、藤川委員、岸本委員、加藤委員、上野委員、鈴木委員、水野委員、西川委員、松本委員（岸田氏同席）
町・事務局：まちづくり推進課　寺崎課長、山田補佐、佐藤係長、廣嶋係長

１．会長あいさつ

今金町地域公共交通確保維持改善協議会会長（町長）外崎秀人

皆さまには、大変お忙しい中、本日の協議会にご出席いただき感謝申し上げます。

前回の協議会では今年度の事業の流れについてご理解いただいておりますが、本日の会議では、前段の流れを踏まえた新たな地区（田代・稲穂地区）でのデマンドバスの実証調査に向けた動きの最終確認を行わせていただき、具体的な方向性を導いていくための確認の会議であります。

まず実証調査をもって、いろいろな情報を出していただきながら、既に実施をしている地域との調整や、これから実施をしようとしている地域についても各段階で議論を重ねながらスタートに向けて考えていきたいと思います。

指導機関はもとより、事業の実施には、幹線バスとの接続もありますから、函館バスさんそして事業主体となる東ハイヤーさんのご理解をいただかなければ実施ができないということもあらためて確認をしながら、これからも流れをきちんと作ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

２．報　　告

報告第１号　地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について

（資料①）

◆地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請については、前回の協議会で承認をいただいたとおり、現在の八束・白石地区に加え、金原・豊田地区及び日進地区において予約バスの本格運行を実施する内容で、正式に６月２６日付で申請を行いましたので報告します。
◆添付資料の表２について、前回の協議会以降、金額積算の精査を行い、提出しました。（ただし、あくまで見込みの金額となっています。）
◆現在、国で計画の審査が行われていますので、審査の結果などについては、次回以降の協議会で報告します。

３　議　事

議案第１号　田代・稲穂地区のデマンドバス実証調査９月実施内容について　（資料②）

◆前回の協議会で、今年度は「田代・稲穂地区」で実証調査を行うこと、また実施の時期は９月と２月に実施することを承認いただいており、資料１６ページには、その概要をまとめました。

◆予約バスを将来的に本格運行に移行することを見据え、既に本格運行を実施している地区と同じルールにより実証調査運行を行います。

◆今金行２便、帰り３便（土曜日は帰り５便）とした時刻表（案）を作成しました。
田代・稲穂地区においては、スクールバスの混乗は行いません。
時刻表上の①～⑧の停車場所は、順路に基づく目安であり、予約がなければ行きませんし、時刻表に停車場所として記載がない方のお宅でも、予約があればご自宅付近まで迎えに行きます。
時刻表の①～⑧は、図面の①～⑧の位置と合致しています。
図面も、地区全体を回る場合の回り順のルート図となっているため、実際は予約の状況に応じたルートとなります。

＜意見等＞

・岸本委員

新しい地域交通の制度には期待している。時間帯や回数については要望もあるかと思うが、地域とコンセンサスをとっていただきたい。説明会などもよろしくお願いする。

・加藤委員

帰り便の２便と３便は土曜日のみだが、将来的には平日も設定される可能性はあるのか。需要のある時間帯では？

（松本委員）

八束・白石地区では、２便、３便の時間帯はスクールバスへの混乗として設定したが、利用はあまりない。小・中学生との混乗は遠慮なさる方も多いのも事実であるが、当初は、函館バスとの乗り継ぎを想定して時間帯を設定していたが、乗り継ぎは利用せずに街中への用事のみでの利用される方も多かった。その利用の方々の多くは１便か４便の利用に集中している実態もあり、また、車両や人員の都合もあることからこのように設定させていただいている。
利用の中で、需要が多いことなどがあれば、また検討させていただきたい。

・水島委員

利用料金については、例えば距離に応じて変える方法などもあると思うが、２００円に設定した理由は？（良し悪しではなくて、考え方についての確認）

（事務局回答）

当初、函館バスの初乗り料金が２００円であったこと、また住民アンケートで２００円であれば利用する方が多かったことなどから、一律２００円という設定を行った。
最初に導入した地域に準じ、一律２００円で行っている。

議案第２号　今後のスケジュールについて　　（資料③）

◆スケジュールについては、前回承認いただいた年間計画から変更はありません。９月と２月に「田代・稲穂地区」での実証調査を行い、１０月から、現在の「八束・白石地区」に加え、「金原・豊田地区」「日進地区」において予約バスの本格運行を行います。

◆次回の協議会は、１２月上旬頃を検討しており、９月の実証調査の結果や、１０月からの新たな地区での本格運行開始の状況などを報告し、２月の実証調査の内容の確認や、次年度に向けた今後の方向性の確認などを行いたいと考えております。

＜全体を通して意見等＞

・水野委員

予約バスの行きは午前のみ、帰りは午後のみの時間設定だが、午後からの今金行便についても需要はあると思うが、帰り便が地区まで行くので、例えばその戻る時に乗れるよう設定するなど、できないか。

（事務局回答）

現状では、車両・人員配置の都合も含め、予約制の中では制度設計が難しい。今後の検討課題としたい。

・岸本委員

待合場所の配慮などもしていただきたい。現状では、農協、役場、病院に留まってしまう傾向にあるが、商業地区と連携したコミュニティースペースの活用など、運行と人の流れを包括的に考えていただきたい。街中での移動についても、ご配慮いただきたい。

（外崎会長）

街中の移動は次の段階の検討課題だと承知している。街中の住民からもいろいろ要望があるが、単純に街中の循環バスということでは課題が多い。全体のバランスの中で検討していく必要もある。

・岸本委員

今後は、幹線バス沿線の住民とのバランスも考慮していっていただきたい。

また、予約バスの運行も、当面は補助金などで賄うことができれば構わないが、将来的に維持していくために住民へも適正な負担を求めていく必要もあるのでは。

（外崎会長）

幹線バス沿線の住民とのバランスも大きな課題。幹線バスの利用者の場合、バス停までの距離に不都合がある方も多いが、具体な解決策が見つからない難しい課題でもある。地域住民の方や事業者の皆さんにも知恵と協力をいただきながら探っていかなくてはならない。

・加藤委員

幹線バスに関連して、バス停の設置についてだが、設置に特段の規制等がないのであれば、いっそ各家庭の前毎にバス停を増やして設置するのは如何か。家の前にバスが停まるとなると利用者も増えるのでは。

フリー乗降区間という設定はあって、それも便利なようだが、実際の利用では、利用者は運転手さんへ停まってもらう合図をするタイミングが難しく、動いている間は前のほうへ歩いていくのも大変なよう。以前、高齢者の方が降りることを伝えた時に、

タイミングがぎりぎりで運転手さんから注意されているのを拝見したことがあり、そうなると利用しにくい面もあるのかなと。それであれば各家の前に停まるとなったほうが利用もしやすいのでは。

（外崎会長）

当初、バス停の設置となると、申請の手続き以外にも除雪等の問題もあり、フリー乗降という形で提案し実現してもらったところ。

フリー乗降という形では確かに降りるタイミングを伝える難しさがあるかもしれないが、利用者にとっての使いやすさなどについて、事業者である函館バスさんでも今後も配慮していっていただきたい。

・松本委員

先ほど、予約バスの料金の話なども出ていたが、自立した形での運行やサービス提供をできるようにしていくためには、負担の増加に対する住民の理解など料金体系については今後の課題でもあると考える。サービス面での工夫を加えることで料金の問題に結びつけていかなくてはならないかなと考えている。

議案第１号～議案第２号については、上記の内容で承認いただきました。

３．その他

■函館バス株式会社西川委員から次のとおり情報提供がありました

〇チラシを配付させていただいたが、「バス冒険キング」という、小中学生を対象にした夏休み限定（瀬棚線限定）のバス乗り放題券を７月１５日から発売を開始します。デマンドバスとも連携しながら、我々の代替線についても少しでも多くのお客様にご利用いただきたいと思っておりますので、皆さま方のご意見等ありましたらお寄せいただけると幸いです。

（外崎会長）

冬は、ぜひスキー場の利用とも結びつけて実施していただきたい。

以上

次回、平成２７年度第３回今金町地域交通協議会は１２月上旬に予定しております。
よろしくお願いいたします。